



大阪有機化学工業株式会社  
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.  
のびゆく力、未来へ

# 会社説明会および 2014年11月期 第2四半期決算説明会資料

2014年7月4日



## 目次

I.	2014年11月期第2四半期連結決算	-----	p.3
II.	2014年11月期連結業績予想	-----	p.8
III.	成長戦略・中期事業計画	-----	p.16

# I. 2014年11月期第2四半期連結決算

## 業績概要(連結)

(百万円)

	'13/05	'14/05		
			増減	前年比
売上高	11,245	11,379	134	101%
営業利益	563	635	72	113%
経常利益	667	670	3	100%
当期純利益	447	419	△28	94%

売上高: 前年比101%

・電子材料の販売が好調に推移するも、化成品の売上が伸びず、横ばい

営業利益、経常利益: 前年比113%および100%

・電子材料の売上増加と化成品の設備投資償却負担の減少により、増益

当期純利益: 前年比94%

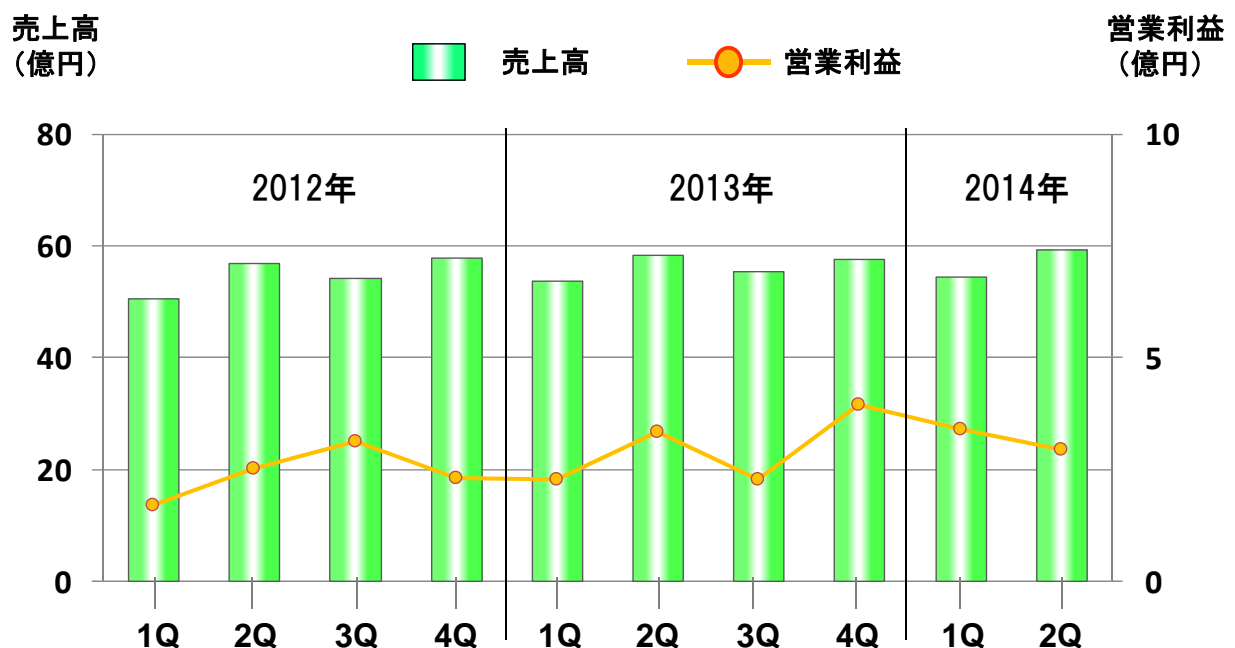
## セグメント別業績概要(連結)

(百万円)

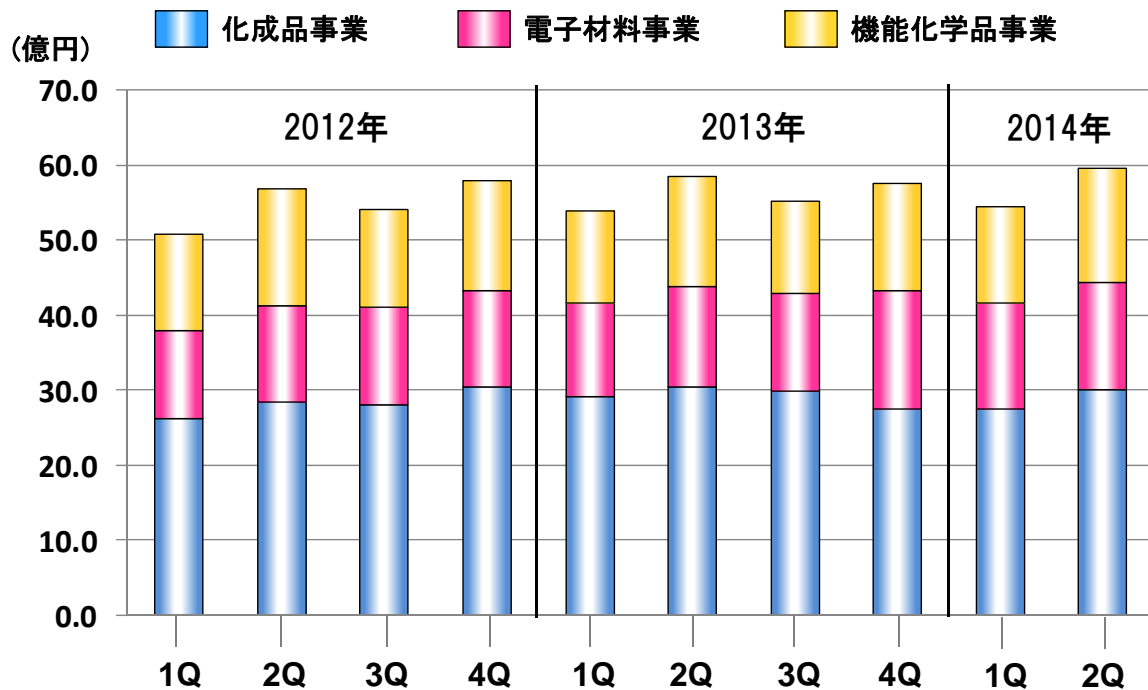
	' 13/05	' 14/05	増減	前年比
<b>売上高</b>	11,245	11,379	134	101%
化成品事業	5,977	5,768	△209	97% ※1
電子材料事業	2,585	2,852	267	110% ※2
機能化学品事業	2,708	2,809	101	104% ※3
<b>営業利益</b>	563	635	72	113%
化成品事業	143	182	39	127% ※1
電子材料事業	344	390	46	113% ※2
機能化学品事業	76	68	△ 8	89% ※3

- ※1 化成品事業、売上高・営業利益：前年比97%および127%  
・自動車塗料関連が好調も輸出の低迷により減収となるが、償却負担減により増益。
- ※2 電子材料事業、売上高・営業利益：前年比110%および113%  
・需要が好調に推移し販売増により、増益。
- ※3 機能化学品事業、売上高・営業利益：前年比104%および89%  
・撥材や特殊溶剤の販売が堅調も、化粧品原料の低迷により減益

## 売上高と営業利益の四半期推移



## セグメント別売上高の四半期推移



## II. 2014年11月期連結業績予想

## 2014年11月期業績予想概要(連結)

(百万円)

	'13/11 (実績)	'14/11 (当初予想)	'14/11 (修正予想)		
				増減	前年比
売上高	22,559	22,756	23,064	505	102%
営業利益	1,185	1,097	1,250	65	105%
経常利益	1,366	1,188	1,362	△4	100%
当期純利益	946	717	831	△115	88%

電子材料事業の販売増により、当初予想を修正

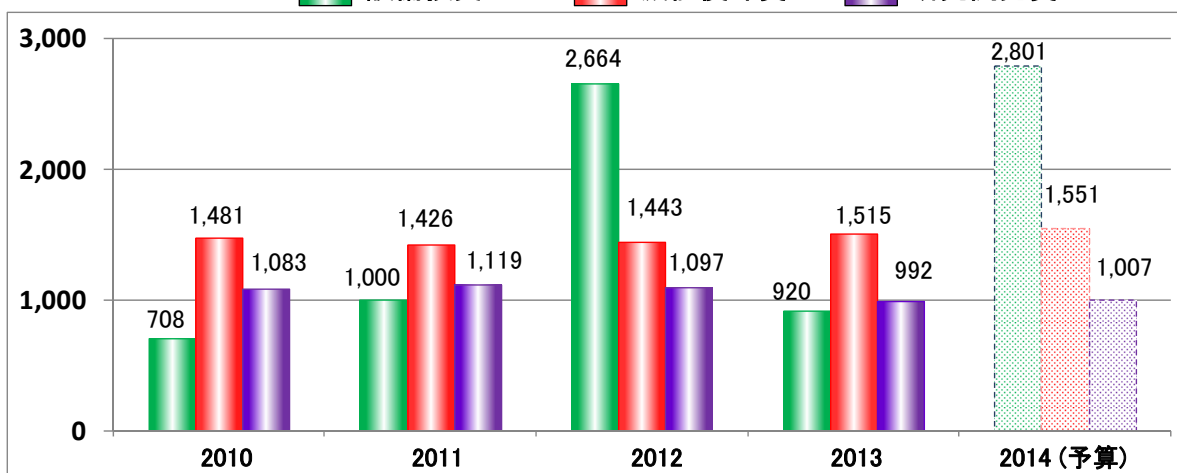
## 設備投資・減価償却・研究開発費

(百万円)

■ 設備投資

■ 減価償却費

■ 研究開発費



### 主な設備投資案件(2014/11月期)

- ・金沢工場 増産対応改造
- ・大阪工場 移管工事
- ・インフラ設備の強化
- ・研究開発、福利厚生施設の充実

## 化成品事業<実績と予想>

**事業方針** 持続成長のための安定収益基盤事業

### 対策

- 営業利益率アップのために
- ・生産性向上によるコストダウン
  - ・海外市場への拡販強化
  - ・高付加価値品の上市

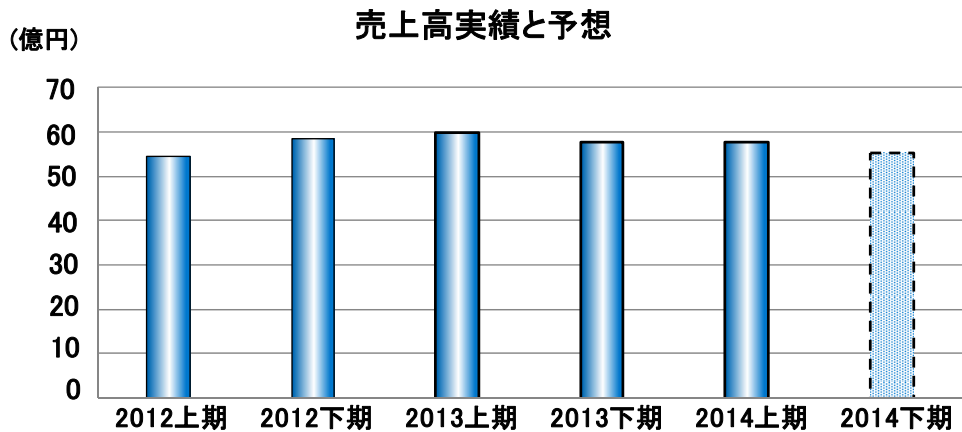


自動車塗料



パソコン

### 実績 ・ 予想



## 電子材料事業<実績と予想>

**事業方針** 安定した高収益性確保のための事業

### 対策

- ・主力製品のシェア拡大
- ・高精細・高微細化による優位性確保
- ・次世代材料の開発に注力

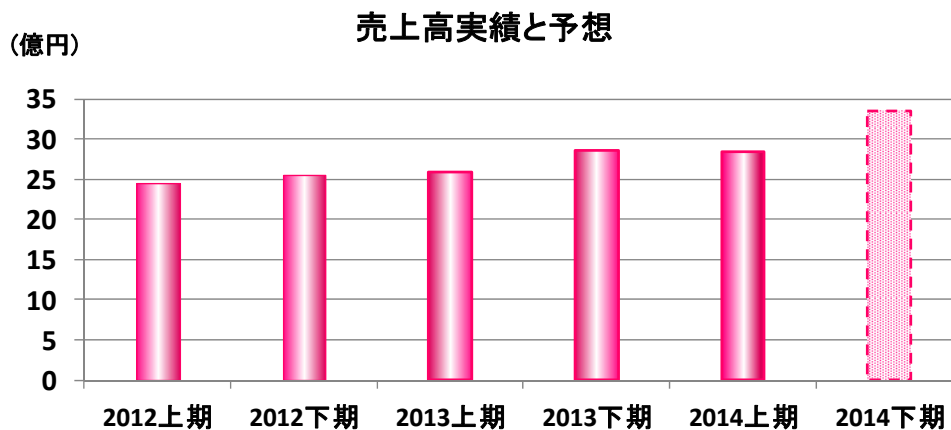


半導体



液晶

### 実績 ・ 予想



## 電子材料事業<トピックス>



半導体

### アダマンタン誘導体事業の譲受

- ・2014年5月 出光興産株式会社よりアダマンタン誘導体事業を譲受(12億円)
- ・アダマンタン誘導体は、半導体向けArFレジストの構成材料
- ・出光興産株式会社では、「アダマンテート」シリーズとして販売していた



- ◇ 当社ArFレジスト用モノマーのラインナップの充実
- ◇ 引き続き拡大が見込まれるArFレジスト用モノマーのシェアトップの地位を確保し、ArFレジスト業界の発展に貢献

## 機能化学品事業<実績と予想>

事業方針 次期成長分野育成ための事業

### 対策

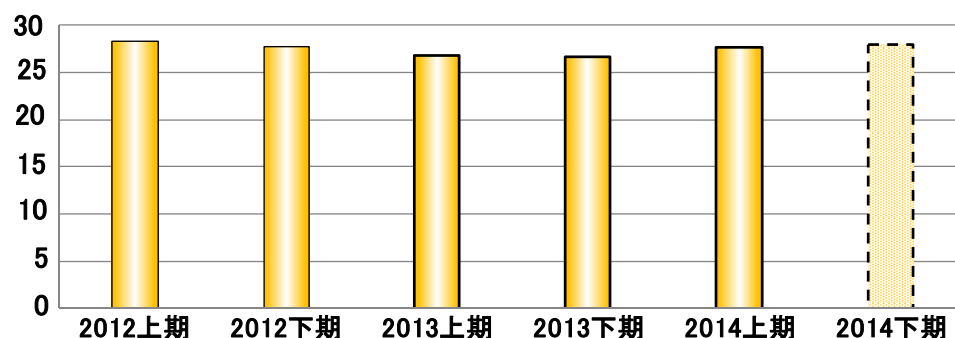
- ・新規機能材料の販売促進
- ・化粧品基材の海外展開
- ・既存製品の合理化

ヘアースタyling剤用  
ポリマー

医薬中間体

### 売上高実績と予想

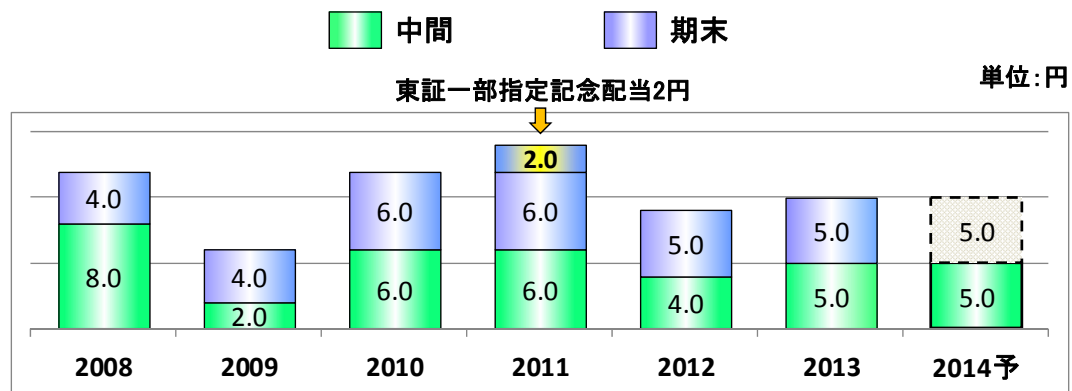
(億円)



実績  
・  
予想

## 一株当たり配当金

2014年度 年間配当 10円 を予定  
(中間配当5円、期末配当5円)



### 利益配分に関する基本方針

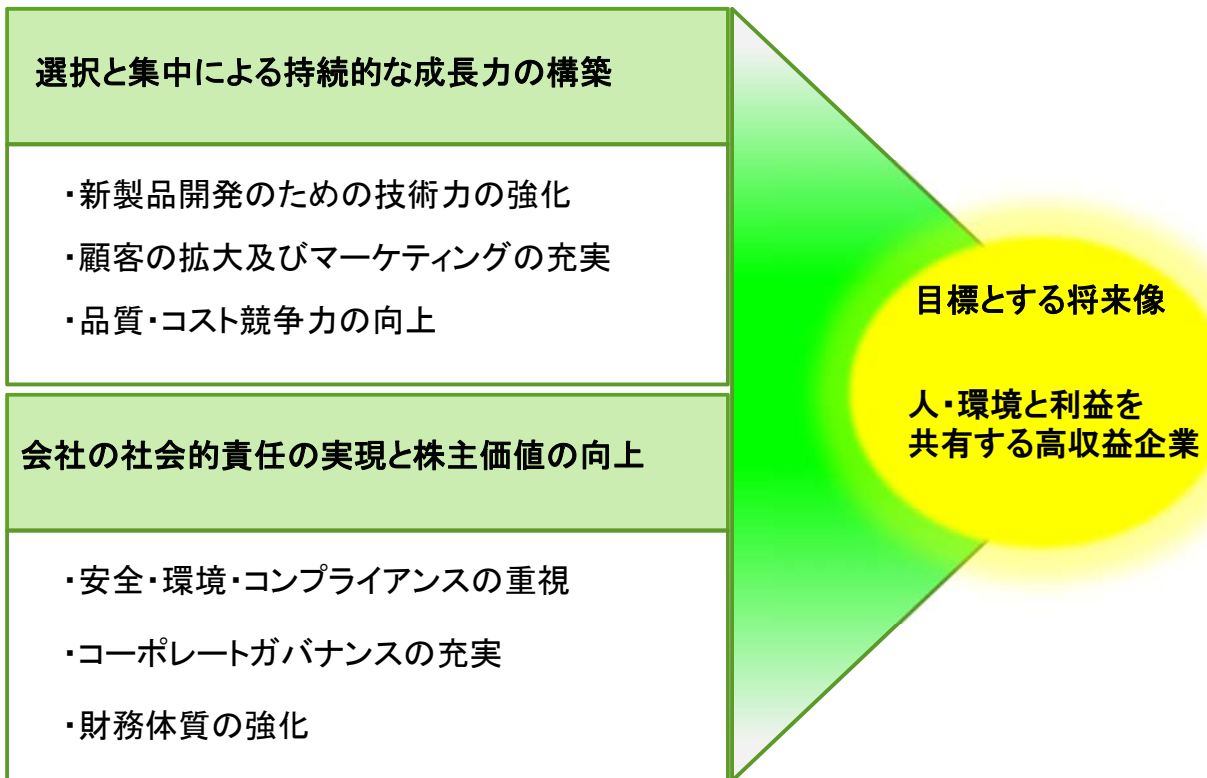
配当額:業績や事業計画に備えた内部留保の充実等を勘案してバランスをとりつつ決定

内部留保:将来につながる新製品、新技術へ向けての研究開発投資や生産能力増強、合理化や高付加価値化へ向けての設備投資等の原資として活用

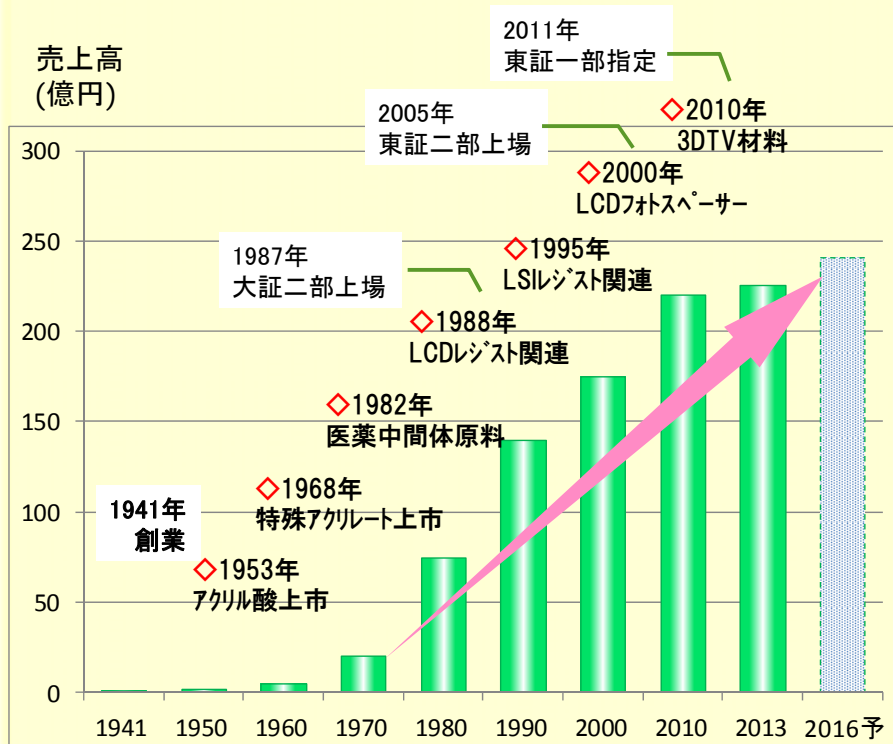
## III. 成長戦略・中期事業計画



## 成長戦略の基本軸



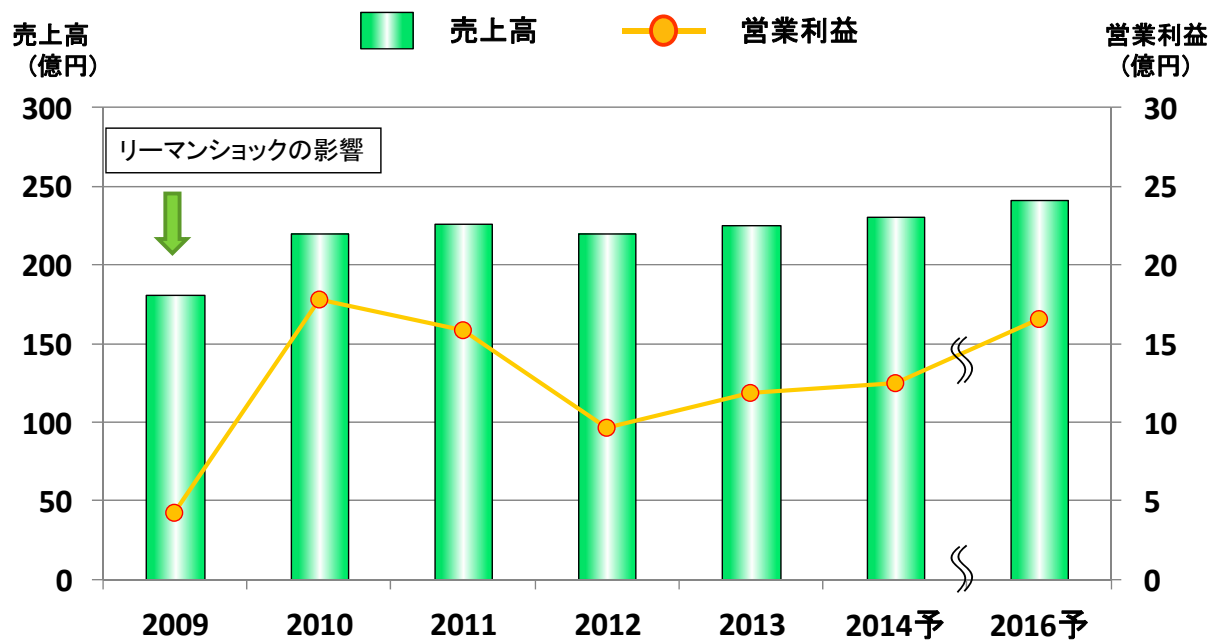
## 成長戦略の方向性



目標とする将来像  
人・環境と利益を  
共有する高収益企業

- ・研究開発型企业  
(アクリル酸エステル・光硬化  
技術中心に)
- ・オンリーワン製品の充実
- ・たゆまない技術改良
- ・海外展開

## 当社グループの状況

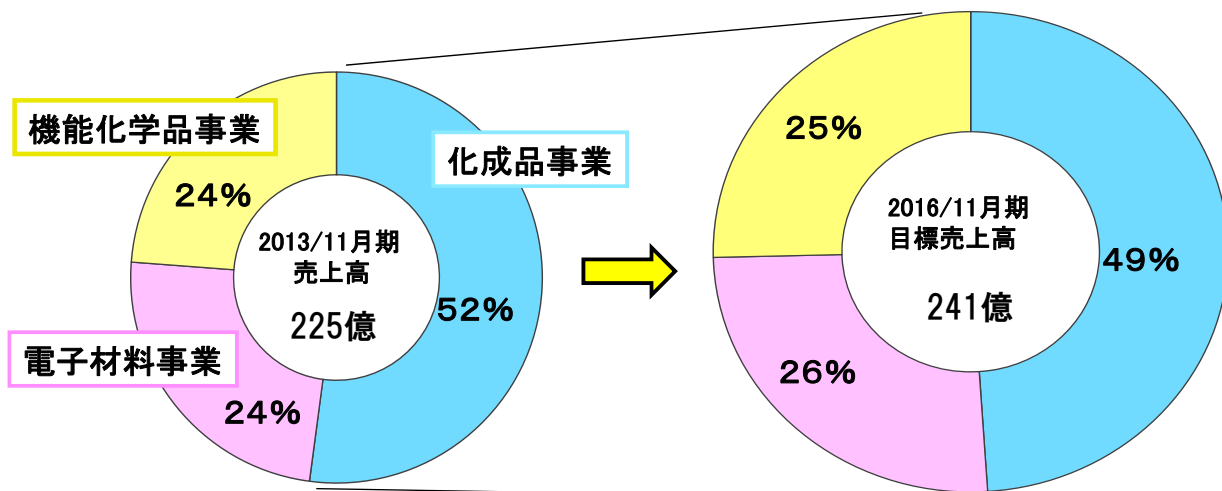


## 中期事業計画 収益目標(2016/11月期)

(百万円)

	'16/11月期 目標値		
		'13/11月期比	
売上高	24,117	22,559	107%
営業利益	1,656	1,185	140%
経常利益	1,749	1,366	128%
当期純利益	1,108	946	117%

## 中期事業計画 売上構成比(2016/11月期)



### 中期事業計画の方針

- ・化成成品事業の商品構成の見直し
- ・電子材料事業の成長による収益の確保
- ・機能化学品事業の育成

## 中期事業計画 <設備投資・減価償却費・研究開発費>

(億円)

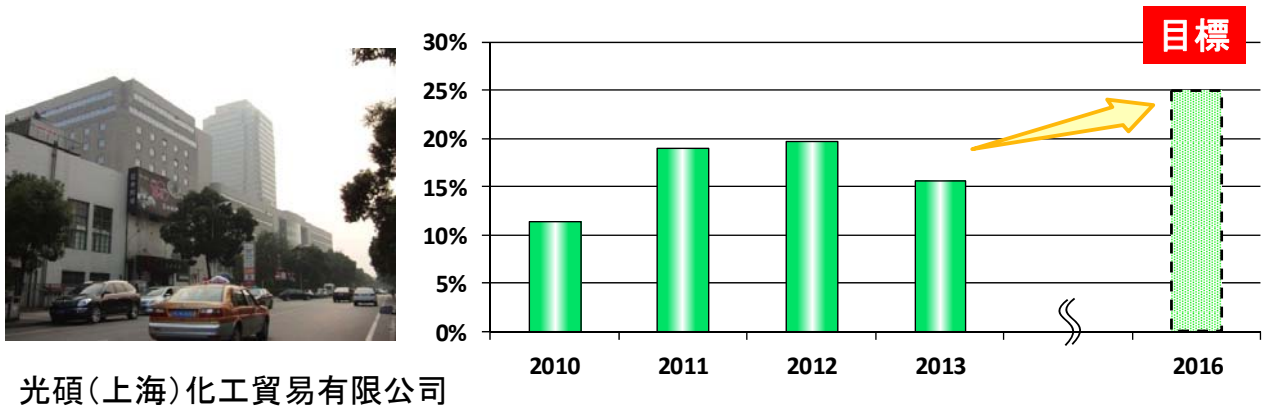
	過去3期計 ( '11/11 ~ '13/11 )	3期累計予想 ( '14/11 ~ '16/11 )	増減
	設備投資	45	66
減価償却費	43	48	112%
研究開発費	32	34	106%

### 主な設備投資

- ・大阪工場移管に伴う金沢工場・酒田工場への製造設備
- ・新研究棟(大阪工場)
- ・福利厚生設備

## 中期事業計画 海外展開

海外売上高比率



光碩(上海)化工貿易有限公司

- ・当社グループ初の海外現地法人の光碩(上海)化工貿易有限公司を設立(2014年1月)
- ・競争力のある製品の販売を進め、2016年度には海外売上高比率25%を目指す

## 中期事業計画 化成品事業

### 事業環境

- ・国内産業の伸び悩み
- ・市場の中心はアジアおよび米国

### <事業の強み>

- ・アクリル酸エステルの豊富なラインナップ
- ・アクリル酸エステル製造技術の研鑽

### 中長期の展開

海外市場への拡販強化 (4-HBA等)  
製造拠点の集約・プロセス改善  
用途の多様化

競争力のある  
製品をより強く

新製品開発 (V#1000 V#802 STAR等)  
新規製造プロセスへ

用途開拓

基盤事業  
としての強化

# 中期事業計画 電子材料事業

## 事業環境

- ・液晶パネル、半導体を用いたデバイス生産は韓国、台湾、中国が中心
- ・光微細化プロセスがキーポイント
- ・市況による変動と短い技術サイクル

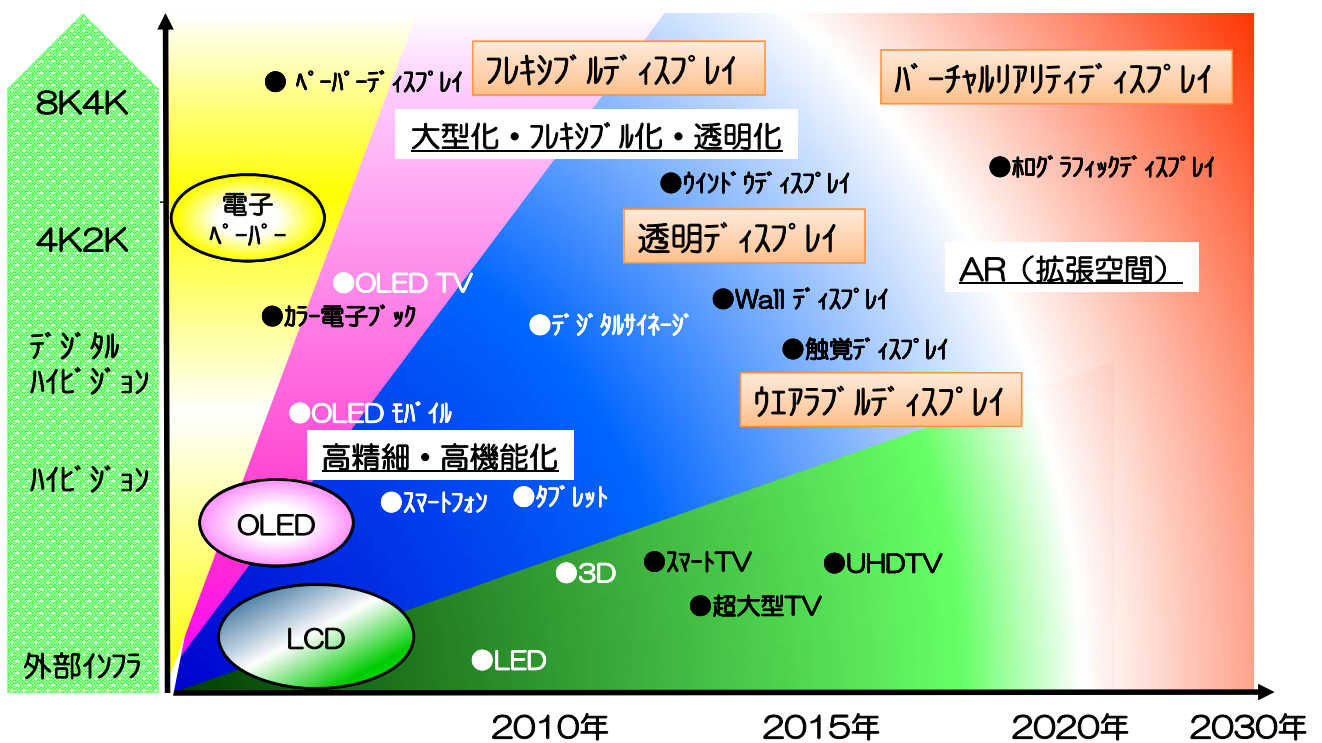
## 中長期の展開

### <事業の強み>

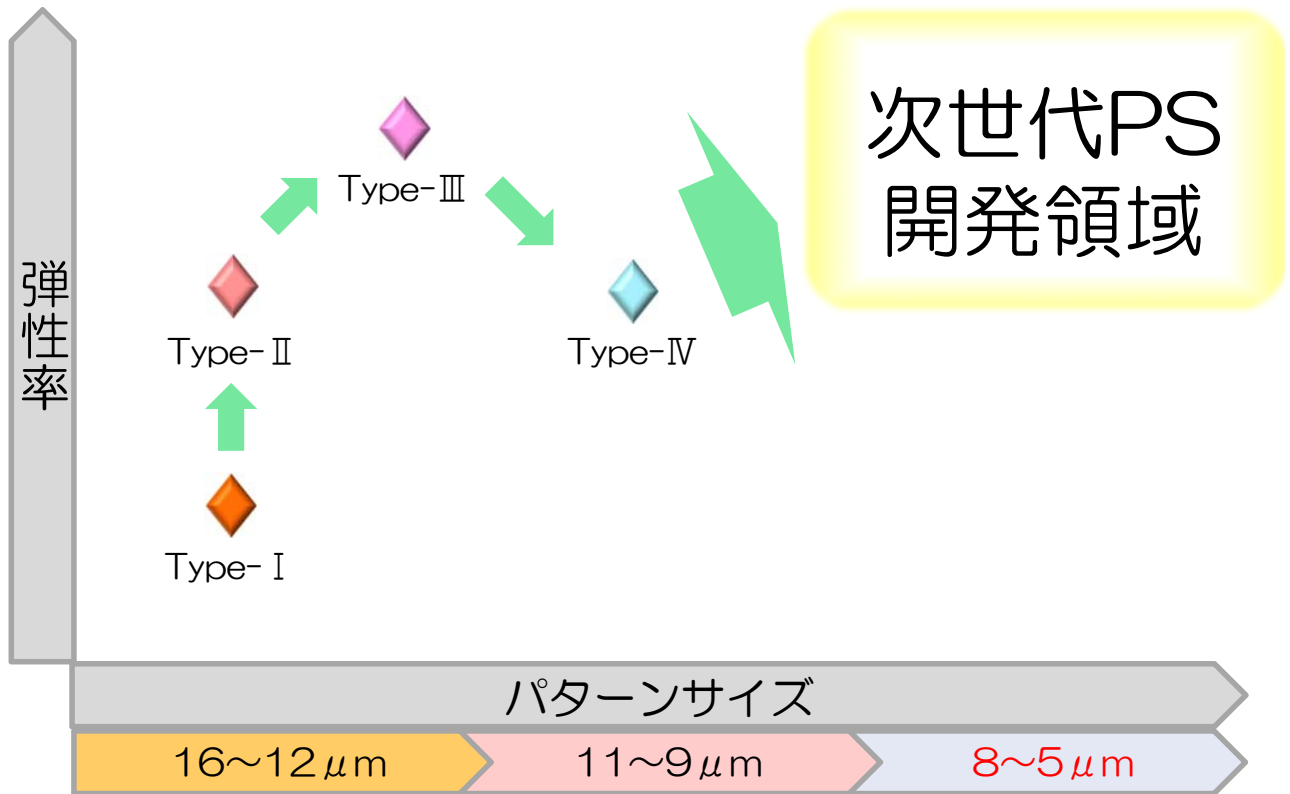
- ・光微細化プロセスのキーマテリアルであるアクリル酸エステルの開発から生産を一貫して行える
- ・高度な品質管理実績

海外展開強化とシェアアップ マーケティング 技術サポート 他社との差別化	量的拡大	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: center;">                     安定した 高収益確保                 </div>
次世代材料開発 高精細PS材料・絶縁膜材料 光制御材料・次世代レジスト材料	市場をリードする材料	

## FPD技術の方向性

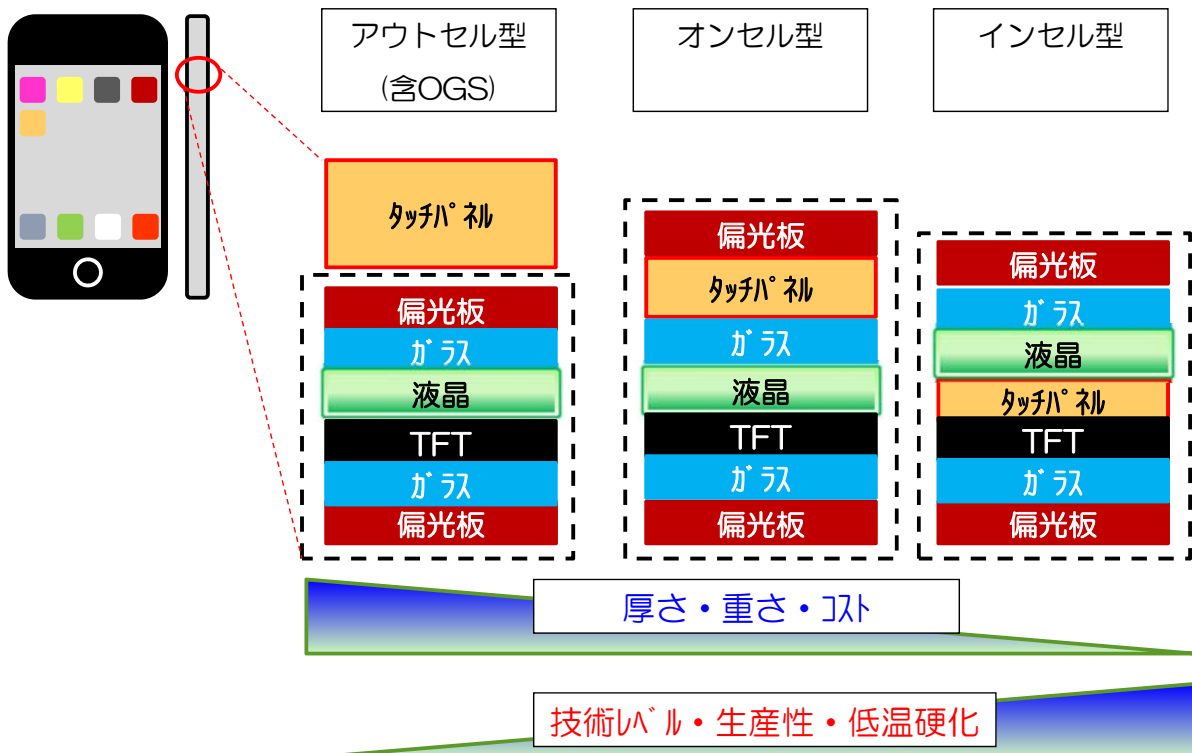


## 高精細PSレジストの開発マップ



## タッチパネルのトレンド

絶縁膜材料は、タッチパネル内部に使用され、型式により要求特性が異なる



## 中期事業計画 機能化学品事業

### 事業環境

- ・アジア圏の化粧品市場の高品質化と購買力向上
- ・酢酸エステル・特殊溶剤は高機能用途にシフト

### 中長期の展開

#### <事業の強み>

- ・機能性アクリルポリマーの設計技術
- ・精密有機合成技術と精製技術

化粧品基材の海外展開

強みを生かした  
分野展開

次期成長  
分野開拓

新規機能材料の販売促進

新規市場開拓

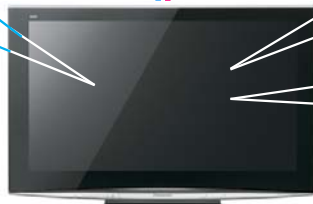
## 中期事業計画の市場・用途

### 化成品事業



自動車塗料

ディスプレイフィルム



コーティング剤



記録メディア



パソコン

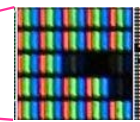


インキ・粘接着剤

海外市場展開に注力

### 電子材料事業

液晶スペーサーレジスト



カラーフィルター



半導体

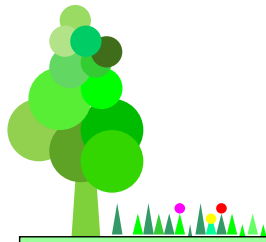


4Kテレビ  
高精細PS材料



タッチパネル  
絶縁膜材料

# 環境保全



- ・環境負荷低減技術
- ・基盤技術拡充

持続可能社会の実現・自然環境との調和

## 重点項目

### 技術的な視点

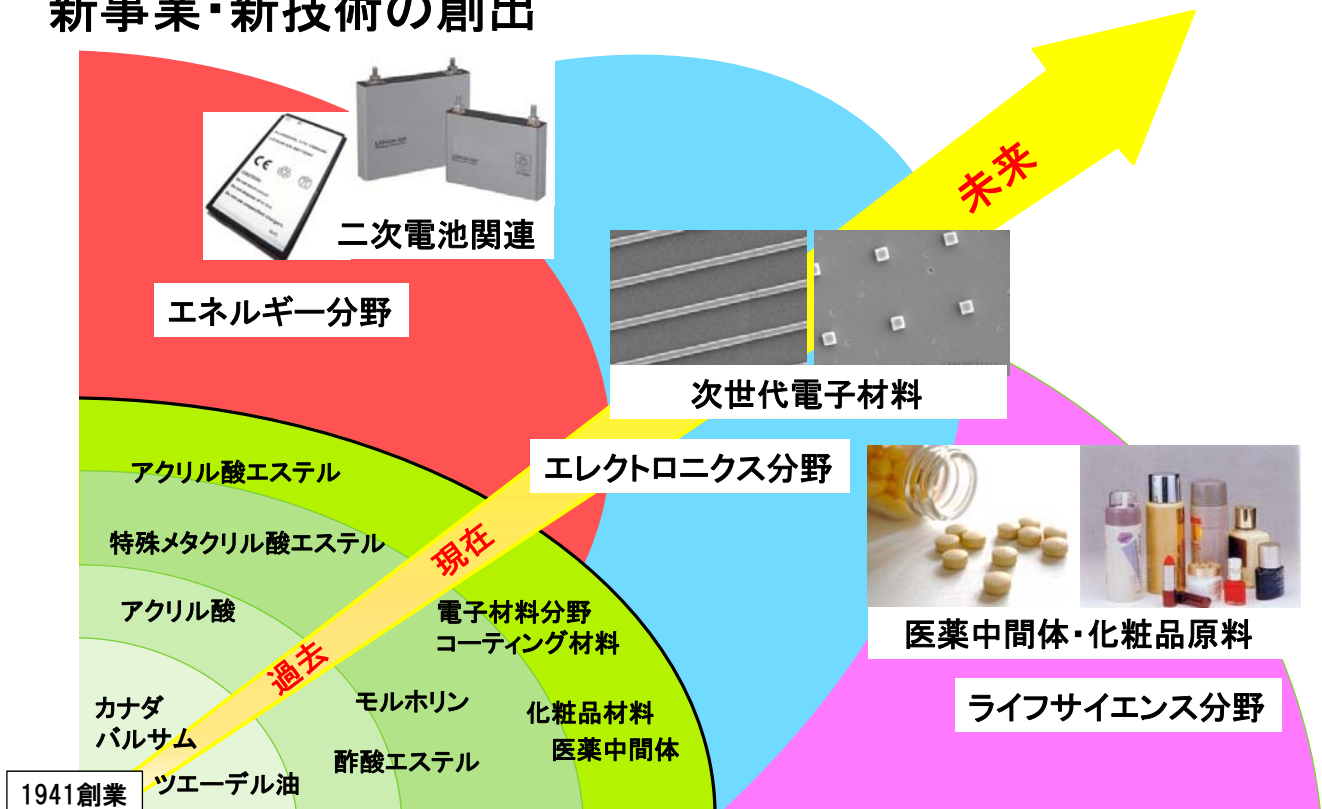
エネルギー・廃棄物量の削減  
(廃油の燃料化設備)

### 公的研究機関との 共同研究による基礎技術拡充

- ・エステル化製品の製法
- ・新規製造技術
- ・生体適合材料
- ・表示材料

これらの開発

# 新事業・新技術の創出







大阪有機化学工業株式会社  
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.  
のびゆく力、未来へ

本資料の予想数値等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の内容と異なる場合があります。したがって、いかなる確約や保証を行うものではありません。

## ご参考資料1 比較連結貸借対照表

単位：百万円

項目	'13/11末	'14/5末	増減	備考
資産合計	31,315	33,091	1,776	事業譲受によるのれんの増加
流動資産	15,632	16,787	1,155	原材料及び貯蔵品の増加
有形固定資産	9,988	10,330	342	
投資その他の資産	5,480	5,002	△478	
負債合計	8,066	9,623	1,557	
流動負債	6,399	8,048	1,649	支払手形及び買掛金の増加 未払金の増加
固定負債	1,667	1,575	△92	
純資産合計	23,248	23,467	219	利益剰余金の増加 その他有価証券評価差額金の減少
少数株主持分	214	217	3	
負債純資産合計	31,315	33,091	1,776	

## ご参考資料2 キャッシュ・フロー(連結)

単位:百万円

項目	'13/5期	'14/5期	増減	備考
営業活動によるキャッシュフロー	1,764	1,360	△404	税金等調整前四半期純利益 減価償却費、たな卸資産増加額、 仕入債務増加額
投資活動によるキャッシュフロー	△702	△1,298	△596	有形固定資産の取得による支出、 投資有価証券の取得による支出、 事業譲受によるのれんの取得に よる支出
財務活動によるキャッシュフロー	△606	△417	189	長期借入金の返済による支出、 配当金の支払額
現金及び現金同等物の増減額	454	△359	△813	
現金及び現金同等物の期首残高	3,080	3,747	667	
現金及び現金同等物の四半期末 残高	3,535	3,388	△147	